内閣府

記 者 発 表 資 料

令和4年1月14日
～美ら海の未来を拓く～
沖 縄 総 合 事 務 局

沖縄西海岸道路宜野湾地区の道路の計画の検討について皆様のご意見をお聞かせください

沖縄西海岸道路宜野湾地区では、計画段階評価※の手続きに入っております。地域の方や道路を利用されている方のご意見を道路計画に反映するためのアンケート調査及びヒアリング調査を行います。

※計画段階評価の手続きとは･･･、道路建設等の公共事業を行う上で、多くの皆様のご意見をもとに事業の方向性を定める手続きのことです。

〇調査期間：令和4年1月14日（金）～3月31日（木）（予定）

〇調査内容：沿道地域住民や道路利用者等を対象に、対応案（ルート帯案）を検討していく上で、重視する項目や配慮する項目について意見を把握するために実施

〇調査対象・実施区分：

調査区分	対象	実施方法	実施期間※
アンケート調査	宜野湾市、北谷町（沿線地域）にお住いの方	全戸に直接配布により実施	2/1～3/31
	道路利用者、観光客	WEB アンケートを実施	1/14～3/31
ヒアリング調査	関係自治体や関係団体、沿線事業者など	訪問等によりインタビュー形式のヒアリング実施	1/14～3/31

※ 作業の状況により配布日が前後する場合があります。

【問い合わせ先】 内閣府 沖縄総合事務局 南部国道事務所
副所長 安次富 長一（あしとみ ちょういち）（内線204）
【担当】 調査第二課長 福地 友博（ふくち ともひろ）（内線461）
TEL 098－861－2336
URL http://www.dc.ogb.go.jp/nankoku/

内閣府　沖縄総合事務局からのお願い

沖縄西海岸道路宜野湾地区の道路の計画検討に関する第2回　アンケート調査

みなさまのご意見をお聴かせください

現在、内閣府沖縄総合事務局では、沖縄西海岸道路宜野湾地区の道路の計画検討を行っております。

今回のアンケートは、沖縄西海岸道路宜野湾地区（国道58号、宜野湾バイパス周辺）の道路について地域の皆様のご意見を伺い、皆様の生活に役立つ改善の検討をさせていただきたいと考えています。

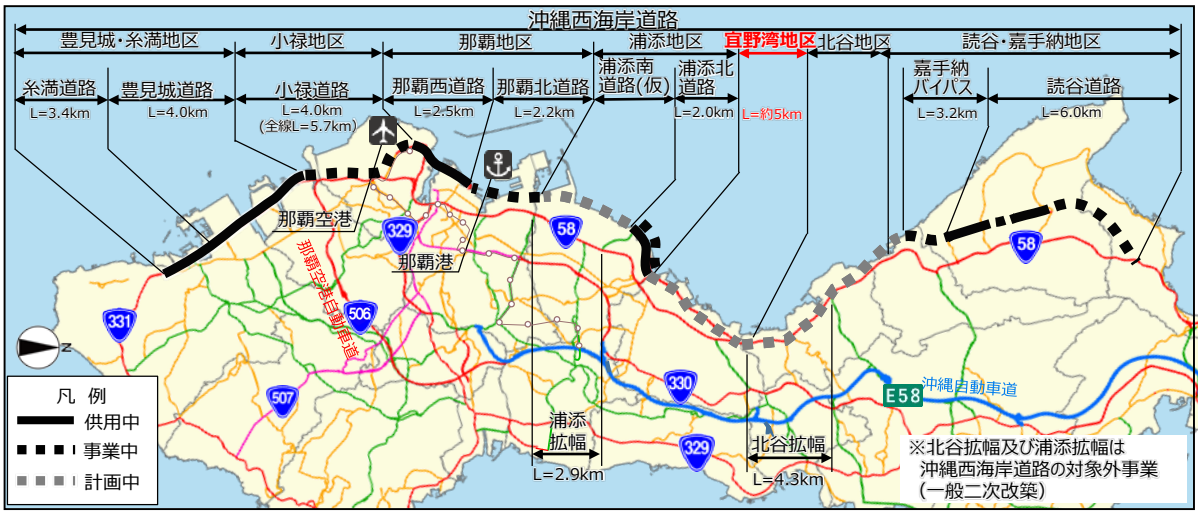
つきましては、アンケートにご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

また、結果につきましては、集計してホームページ等で公表させていただきます。

沖縄西海岸道路とは？

読谷村から糸満市に至る延長約50kmの道路であり、高規格幹線道路である那覇空港自動車道と、那覇空港・那覇港といった広域交通拠点を相互に連絡します。

検討位置図



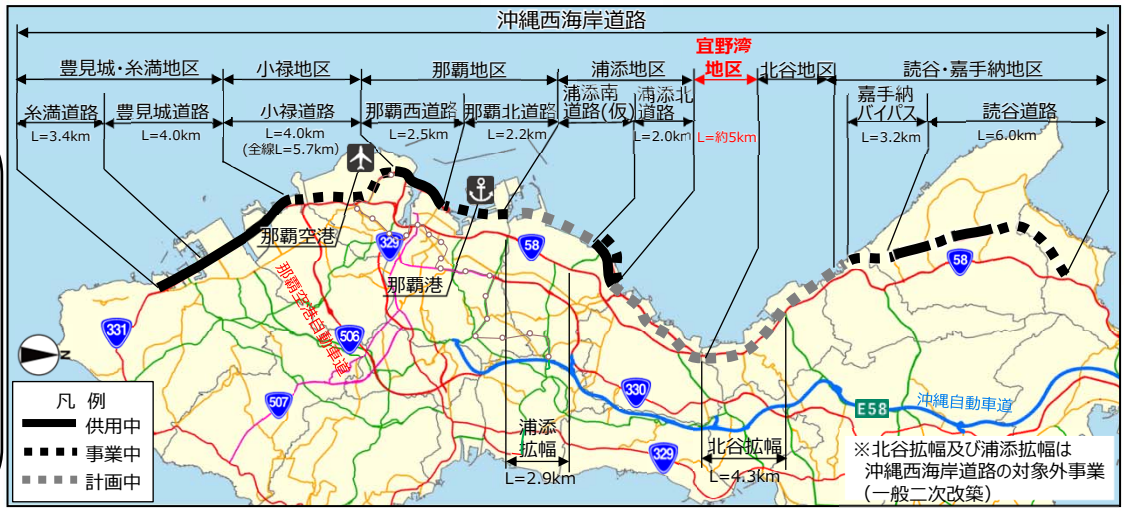
○調査実施機関
内閣府 沖縄総合事務局 南部国道事務所
○調査実施委託先
パシフィックコンサルタンツ株式会社
【本調査に関する問い合わせ先】
内閣府 沖縄総合事務局 南部国道事務所
担当：調査第二課　福地、塩澤
〒900-0001 沖縄県那覇市港町2-8-14
TEL：098-861-2336 FAX:098-861-2454

※本アンケートでお答えいただいた意見および個人情報は、ほかの目的で使用したり、第三者に使用させたりすることは一切いたしません。

沖縄西海岸道路宜野湾地区に関する アンケートご協力のお願い

沖縄西海岸道路とは？

読谷村から糸満市に至る延長約50kmの道路であり、高規格幹線道路である那覇空港自動車道と、那覇空港・那覇港といった広域交通拠点を相互に連絡します。



宜野湾市・北谷町にお住まいの皆さまへ

この度は、沖縄西海岸道路宜野湾地区の道路計画の検討にあたり、計画づくりの初期段階から皆様へ情報提供を行うとともに、広くご意見をお聴きし、それを計画へ反映していく取り組みとしてアンケート調査を実施することとなりました。

対象地域は宜野湾市と北谷町の全世帯が対象となり、アンケート用紙は郵送にて配布致します。なお、調査結果は統計的に処理し、住所や氏名等の個人情報が特定されることはございません。

調査結果は、集計・とりまとめ後、沖縄総合事務局のホームページ等で掲載する予定です。

～アンケート記入にあたってのお願い～

1）郵送されたアンケート用紙によりご回答ください。
2）世帯のうち、代表の方（２名まで）がご回答できます。（世帯主である必要はありません）
3）ご記入の際は、裏面の「よくあるご質問」をお読みいただきますよう、お願いします。
4）調査票は、令和4年3月31日までに郵便ポストに投函いただきますようお願いいたします。
5）QRコード（右下）読み込みによりスマートフォンでもご回答いただけます。
6）一人につき一回のみご回答をお願いします。

本調査に関する問い合わせ先

内閣府　沖縄総合事務局　南部国道事務所　　担当：調査第二課
〒900-0001　沖縄県那覇市港町２－８－１４　TEL：098-861-2336

よくあるご質問

回答は誰がすればいいの？

ご世帯の代表の方にご回答をお願いいたします。
１世帯あたり２枚の回答票をお送りしておりますので、2名までご回答いただけます。

この調査は何の役に立つの？

宜野湾市・北谷町の地域・交通の問題点を把握し、道路等を計画するための貴重なデータとなります。
ルート・形などを考えるうえで欠かせない調査ですので、ご協力をお願いいたします。

個人情報が漏れたりしない？

このアンケートの結果は、今回の計画段階評価手続き以外には用いません。また個人が特定されるようなかたちでの公表も行いません。
ぜひお一人お一人のご意見をお聞かせください。

WEBと郵送、どちらで回答すればいい？

どちらでも構いません。ただし、お一人様につきいずれかの方法による１回のみの回答とさせていただきます。

その他詳しいお問合せは、
下記のお問合せ先までお願いします。

お問合せ先：沖縄総合事務局　南部国道事務所　調査第二課
TEL：098-861-2336

沖縄西海岸道路宜野湾地区に関する アンケートご協力のお願い

■沖縄西海岸道路宜野湾地区とは

既設道路である宜野湾バイパス・国道 58 号では日常的な渋滞が発生し、交通事故も多発するなど、皆様の生活や企業活動に影響を及ぼしています。また、沿線地域ではまちづくりや観光開発が計画されており、今後、更なる地域発展に伴う交通量の増加が懸念されています。

そのため今回の調査では皆様にご意見をお聞ききし、対策案（ルート帯案）を比較・検討する際の留意事項（重視すべき項目）を明確にした上で、対策方針を決定する手続き（計画段階評価）を行っております。（下図：今後の調査の流れについて（案）参照）

■今後の調査の流れについて（案）

今後、下記の流れに従って計画調査を行い、対応方針を決定いたします。

地方小委員会（第１回）	第1回アンケート → 意見聴取（第１回）	地方小委員会（第２回）	今回 第2回アンケート → 意見聴取（第２回）	地方小委員会（第３回）	対応方針（概略ルート・構造）の決定

計画段階評価手続き →

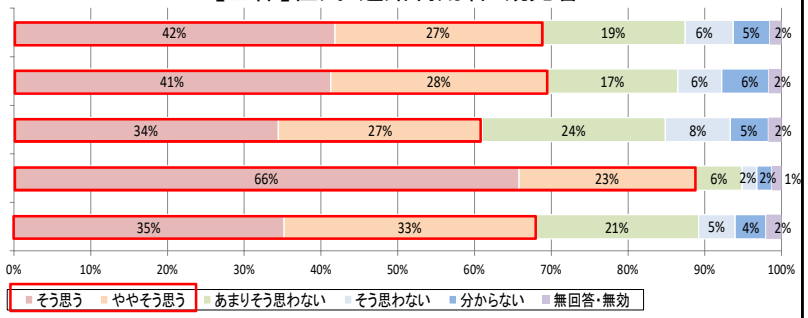
国道58号（宜野湾地区）の現状を以下のとおり整理しました。

分類		課題
地域について	地域社会	**〇地域開発に必要な道路整備が不足** ・那覇市や浦添市等の流動・結びつきは強いものの、西海岸地域の幹線道路の整備密度は低い。
	地域経済	**〇産業活動の活性化を支援する道路の不足** ・宜野湾市は国際物流拠点地域に指定され、物流拠点が集積しており、今後の製造品出荷額も増加することが想定される。 ・中北部地域の農産物の搬送ルートとして国道58号が利用されており、今後の物流支援が必要である。
		〇観光資源を連結する広域的なアクセス道路が不足 ・県全体の観光客数が増加する中、宜野湾バイパス沿線のホテル建設が進められており、更なる観光振興が期待される。 ・宜野湾海浜公園におけるイベントが活発に行われており、観光客の増加が期待される。
道路について	渋滞	**〇国道58号への交通集中による渋滞の発生** ・対象区間の交通量は交通容量を大きく超過しており、伊佐交差点等でピーク時を中心とした慢性的な交通渋滞が発生している。
	事故	**〇国道58号及び生活道路での交通事故が発生** ・対象地域では事故危険区間が複数存在し、事故危険度の高い区間である。 ・国道58号の渋滞を避けた交通が生活道路に流入しており、交通事故が発生していると推測される。

第1回アンケートの結果を以下のとおり整理しました。

交通課題

【全体】住民・道路利用者・観光客



【アンケートの主な意見】

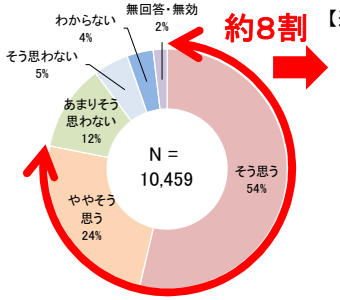
- 海岸地区に大手事業所が多く大型車両が多いためバイパスが必要です。【宜野湾市/60代/職業不詳】
- 宜野湾バイパスのお陰で那覇に行くには便利だが物流トラックで混雑している。【宜野湾市/50代/会社員】
- コンベンションセンターでのイベントの度、バイパスの混雑の影響で、住宅地の前の道路が並行して混雑します。【宜野湾市/40代/職業不詳】
- いつも観光に行く際はレンタカーを使用するが、必ずと言って良いほど渋滞している。【愛知県/20代/会社員】
- 西海岸道路と宜野湾バイパスの接続部の交通渋滞を解消してほしい。【北谷町/60代男性/会社員】
- 普天間基地により西海岸から330号への道路が限られている上、道路新設・拡大により今まで以上に県道34号の渋滞がひどくなった。【住所・年齢・職業不詳】
- 国道やバイパスからの抜け道として生活道路が使われている。特に大山小のスクールゾーンに危険を感じている。【宜野湾市/50代/無職】
- 渋滞を避ける為、大謝名→真志喜→大山→伊佐の生活道路にまで車両が多く集中し危険、早めの対策が必要！【宜野湾市/40代/無職】

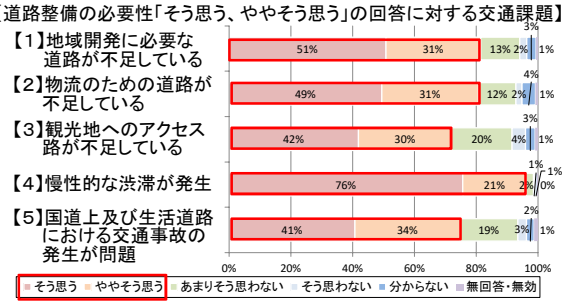
【ヒアリングの主な意見】

- 開発には幹線道路が必要。那覇や浦添は土地ない。普天間基地は広大な土地ができる。【宜野湾市商工会】
- 朝夕のピーク時に時間がかかるのが分かっているので、ピーク時間帯を避けたり、余裕を見た所要時間を想定している。【北谷町商工会】
- 観光客のレンタカーによる事故が多い。事故により渋滞が発生している。【浦添市・運輸業】
- 渋滞は場所による。大謝名交差点が全方向混雑。県道34号が特に渋滞著しい。宇地泊IC交差点も南向き右折（西海岸道路）は1車線右折でつぶれるので直進に影響がある。【宜野湾市】
- 宇地泊IC交差点の滞留長は、暫定供用のためだが長い。牧港交差点では、朝ピーク時国道330号まで滞留長が伸びる。大謝名交差点は混雑しており、海側からの右折が滞留する。【沖縄県】
- 北谷交差点が、県道130号が坂道になっているため事故がある。また、北前地区の自治会で、宜野湾BPで事故があると聞いた。【北谷町】
- 伊佐交差点が危険。事故危険個所のとおりだと思う。国道58号と宜野湾BPの間は、出入りする道が限られている。出るときも中央分離帯があるので左折しか出来ない。【宜野湾市消防本部】

道路整備の必要性

【全体】住民・道路利用者・観光客





【アンケートの主な意見】

- 産業集積地域であるのに道路整備がなされていないと思う（特に大山工業団地付近）。近隣の観光振興を期待するのであれば、両立できる道路整備を行ってほしい。【宜野湾市/50代/その他】
- 物流の為のレーンを設けてほしい。【宜野湾市/40代/会社員】
- 自分が運転している時に側からダンプ、トラックや重機等が横や後ろにいたらとても不安です。【北谷町/70代以上/無職】
- 旅行に来ている方が空港に余裕をもって2～3時間前にホテルや観光地を出発している現状を変えてほしい。【宜野湾市/60代/自営業】
- 宜野湾バイパスは日によって混雑の度合いが違う、信号機の調整の仕方？【北谷町/60代/自営業】
- 車社会・渋滞地域なので、ハード面だけでなく、ソフト面（交通情報共有・ドライバールール違反取締のマナー向上等）も含めた施策を進めてほしい。【宜野湾市/50代/会社員】
- 右折指示の出ない信号機の場所では、直進車が見えにくい場合があり危険。信号機には右折指示を！！【宜野湾市/40代/自営業】

【ヒアリングの主な意見】

- 国道330号はバスベイがないため、後ろの車がつかえて車線変更が多く、危険と言える。【宜野湾市】
- 80km/hの高規格の道路でないと速達性が期待できない。宜野湾BPはバイパスと言えど、信号が多い。【沖縄県】
- 新しく道路ができた場合でも、元々混雑があったので、新たな接続箇所での混雑が心配である。【宜野湾市・宿泊業】
- 信号は連動できないのか。運転していると、必ずどこかの信号でひっかかる。【浦添市・運輸業】

まとめ

○第1回沖縄地方小委員会で整理した5つの地域・道路交通の課題に対し、約6割から約9割が「そう思う」、「ややそう思う」と回答しており、利用者の実感と合致。
○道路整備の必要性について、「そう思う」、「ややそう思う」と約8割が回答。これらの道路整備に肯定的な回答者のうち、前述した5つの課題に対し「そう思う」、「ややそう思う」と約7割から約9割が回答。
○道路整備を行うことが地域振興、物流支援、観光振興、渋滞緩和、安全性向上につながると期待している。

⇒ 政策目標を達成するための機能を有するルートを検討

国道 58 号・宜野湾バイパスにおける課題解決のための目標を定めました

国道 58 号および宜野湾バイパスにおいて、 地域や道路の観点から課題の整理を行い、 課題を解決するための政策目標 を以下のとおり定めました。

現状と課題①-1 ・地域開発に必要な道路整備が不足

■宜野湾市は、 国際物流拠点産業集積地域に位置付けられ、 同地域内には那覇空港・那覇港・西洲卸商業団地や大山工業団地等の主要産業が近接しており、コリドー地区・西普天間住宅地区等の跡地開発も予定されている。

■那覇空港では新貨物ターミナル開業（H21.9）等の拡張により取扱貨物量が増加傾向であり、 対象地域における食料品製造関連の製造品出荷額は周辺の3市で県内の約5割を占めるなど、 今後も製造業の発展が期待される。

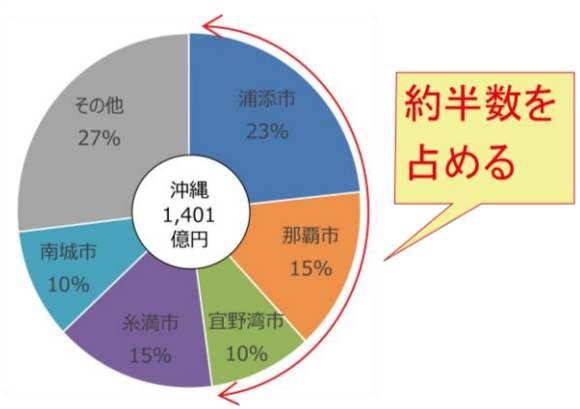
▼宜野湾市・浦添市・那覇市の工業立地状況

資料：国土数値情報 物流拠点及び用途地域データ

▼国際物流拠点産業集積地域

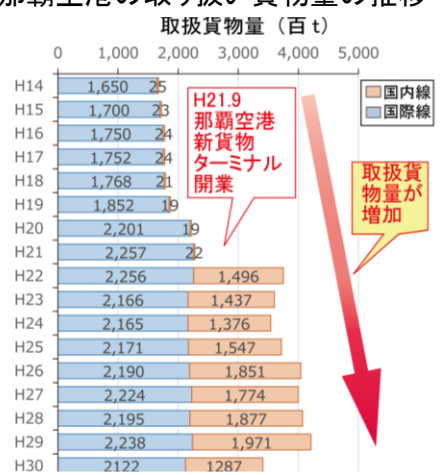
資料：「国際物流拠点産業集積計画の概要について」（H26.6、 沖縄県）

▼製造品出荷額（食料品）の市町村別割合



資料：H28 経済センサス

▼那覇空港の取り扱い貨物量の推移



資料：空港管理状況調書

現状と課題①-2 ・観光資源を連結する広域的なアクセス道路が不足

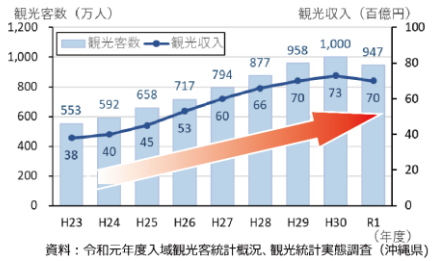
■沖縄県における観光客は近年増加傾向であり、 うち約7割が那覇市、 約3割が中部西海岸を訪問しており観光客が集中している。

■宜野湾市ではバイパス沿線のホテル建設が進められており、 さらなる観光振興が期待される。

■北谷町においても、 フィッシャリーナ整備事業において宿泊施設が急増しており、 さらなる観光振興が期待される。

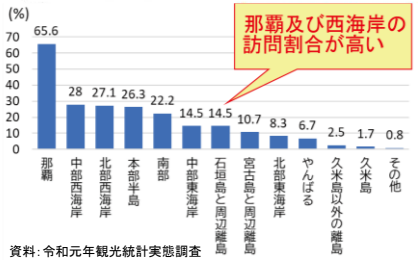
▼中部西海岸地域の主な観光地

▼沖縄県における観光客数の推移



資料：令和元年度入域観光客統計概況、観光統計実態調査（沖縄県）

▼沖縄県観光客の立ち寄り地域



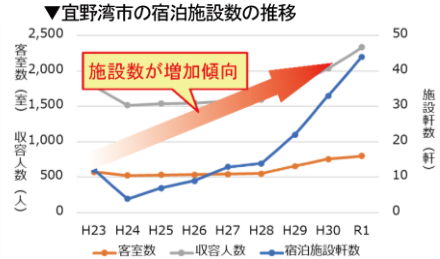
資料：令和元年観光統計実態調査

▼フィッシャリーナ整備事業（北谷）

ヒルトン沖縄北谷リゾート （平成26年オープン）

北谷町海業振興センター「うみんちゅワーフ」（平成26年オープン）

▼宜野湾市の宿泊施設数の推移



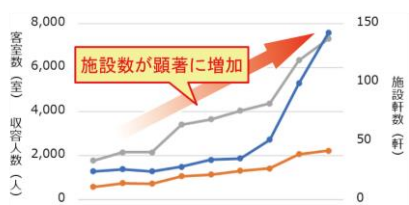
資料：宿泊施設実態調査結果

▼ホテル建設事業（宜野湾）

大型ホテル建設予定（令和4年オープン予定）

資料：ホテル建設業者HP

▼北谷町の宿泊施設数の推移



資料：令和元年度観光統計実態調査

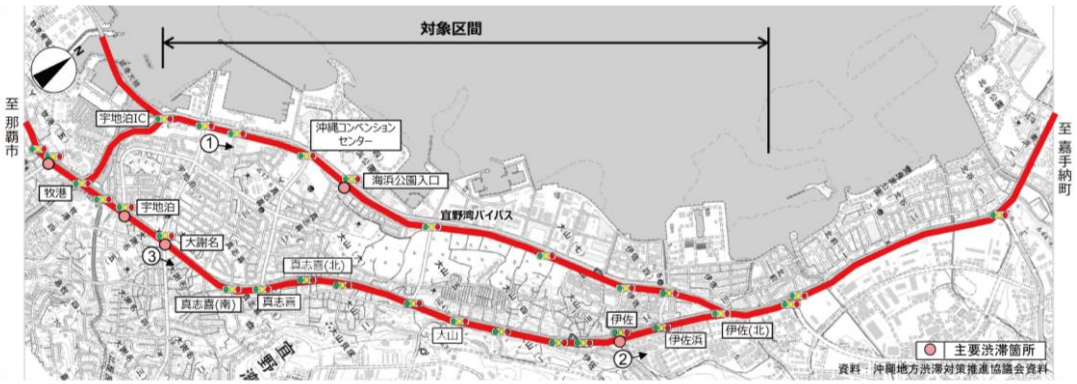
政策目標①：産業観光振興を支援する道路ネットワークの強化

国道 58 号・宜野湾バイパスにおける課題解決のための目標を定めました

現状と課題②-1 ・国道 58 号および宜野湾バイパスにおける渋滞

■国道 58 号および宜野湾バイパスは、信号交差点が多く、慢性的な交通渋滞が発生している。

▼対象区間の渋滞・事故の状況



①宜野湾バイパスの渋滞発生状況

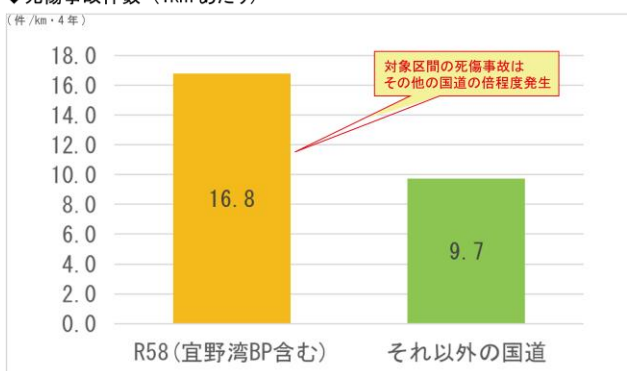
②国道 58 号の渋滞状況（伊佐）

③国道 58 号の渋滞状況（大謝名）

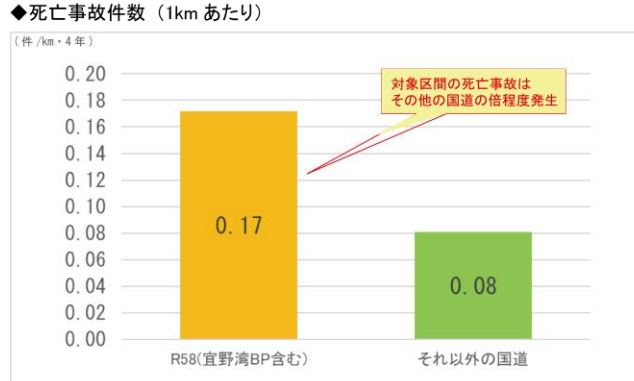
現状と課題②-2 ・国道 58 号および宜野湾バイパスにおける交通事故

■対象地域では事故危険区間が複数存在し、交通事故の危険性が高い区間である。
■対象区間では、沖縄県内のその他の国道と比べ、交通事故が倍程度発生している。

◆死傷事故件数（1km あたり）



◆死亡事故件数（1km あたり）



政策目標②：幹線道路の機能向上（交通渋滞緩和・安全性確保）

ルート帯案の検討

○第１回アンケートにおいて「地域の課題」「道路整備の必要性」を確認できたことから、２つの「政策目標」を設定。

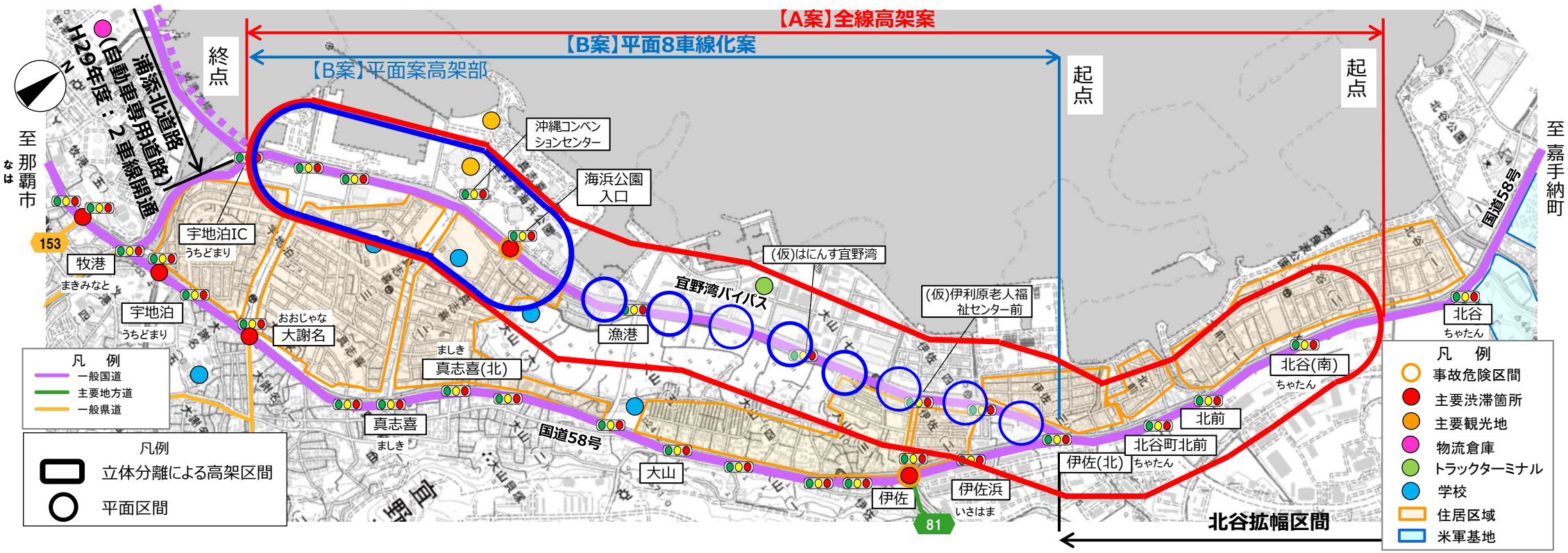
①産業観光振興を支援する道路ネットワークの強化
②幹線道路の機能向上（交通渋滞の緩和・安全性の確保）

○政策目標を達成するための機能を有する道路整備の対応方針（ルート帯案)について複数のルート案を設定。

政策目標	①産業観光振興を支援する道路ネットワークの強化	②幹線道路の機能向上（交通渋滞の緩和･安全性の確保）
ルート帯選定のポイント	･「産業拠点、物流拠点、観光資源間を広域的にアクセスする道路ネットワーク」を形成できるか	･「交通渋滞の緩和、安全性の確保」に貢献できるか
	規制速度が高くなるか 空港から主要拠点（宜野湾、北部）への所要時間が短縮するか	路線および交差点の混雑が緩和するか 主要渋滞箇所が改善するか 事故危険区間が改善するか
	【その他】 ･自然環境への影響は少ないか ･移転などに必要な家屋等が少ないか ･事業費が大きすぎないか ･生活環境への影響（大気質や騒音）はないか ･工事中の交通規制の影響は少ないか ･維持管理に要する費用は大きすぎないか	
	高架構造	平面構造（8車線）
	【A案】 高架案	【B案】 平面案

ルート帯案の検討

○隣接する浦添北道路が高架構造であるため、接続する宇地泊IC～海浜公園入口交差点までは2案とも高架構造。
○A案 全線高架案：宇地泊IC～北谷（南）交差点までの全線高架構造。
○B案 平面8車線化案：漁港交差点～伊佐(北)交差点まで平面構造。



【A案】全線高架案

※北谷（南）交差点～伊佐（北）交差点間の一般部は6車線となる

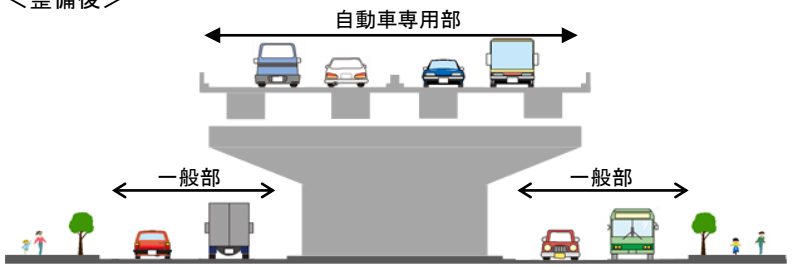
【B案】平面8車線化案

＜現状＞

＜整備後＞

※宇地泊IC～海浜公園入口交差点間は平面部4車線の高架区間となる

ルート帯案の概要

評価項目		評価指標	【Ａ案】全線高架案	【Ｂ案】平面8車線化案
			＜整備後＞  ※北谷（南）交差点～伊佐（北）交差点間の一般部は6車線となる	＜現状＞ ＜整備後＞ ※宇地泊IC～海浜公園入口交差点間は4車線の高架区間となる
			延長L=約5.8km （自動車専用部 全線高架）	延長L=約4.2km （うち高架部:約4割、平面部:約6割）
政策目標	①産業観光振興を支援する道路ネットワークの強化	**那覇空港からの所要時間** **（アメリカンビレッジ・残波岬）**	自動車専用部の設置により、所要時間が大幅に短縮 （現況に比べ約9分短縮）	車線数が増加するものの、所要時間短縮の効果はＡ案より低い （現況に比べ約6分短縮）
	②幹線道路の機能向上（交通渋滞の緩和・安全性の確保）	**混雑度※**	大幅に改善 【現況】2.14⇒【整備後】0.79 ※宇地泊～伊佐北間の混雑度が最大となる断面で評価 （現況：宇地泊IC北側断面、整備後：海浜公園入口南側断面）	改善はするものの、Ａ案よりは効果が低い 【現況】2.14⇒【整備後】1.53 ※宇地泊～伊佐北間の混雑度が最大となる断面で評価 （現況：宇地泊IC北側断面、整備後：漁港交差点北側断面）
		通過交通の転換 **（宜野湾BP）**	高架により通過交通の転換が期待される	平面区間では沿道利用と通過交通が混在する
		交差点流入交通量 **（漁港交差点）**	高架により下のバイパス区間の交差点を走行する交通量が減少する 【現況】46,000台/日⇒【整備後】6,000台/日	すべての交通量が平面区間の交差点に残るため交通量は減少しない 【現況】46.000台/日⇒【整備後】60,700台/日
		主要渋滞箇所・事故危険区間	主要渋滞箇所及び事故危険区間である海浜公園入口交差点を高架により回避	主要渋滞箇所及び事故危険区間である海浜公園入口交差点を高架により回避
道路整備による影響	利便性	**沿道へのアクセス**	中間ICの設置を想定しているため、沿道へのアクセスは可能	平面部はアクセス制限なし
	生活環境への配慮	**工事中の影響**	現道交通への影響が大きい ・工事による規制範囲がＢ案よりも広く、規制期間も長い	現道交通への影響が小さい ・工事による規制範囲は狭く、規制期間も短い
	沿道への影響	**影響する家屋数**	B案より多い	A案より少ない
事業費			約1,300～1400億	約400～500億

※混雑度とは、交通容量に対する交通量の比で表され、主に当該路線の交通状況を示す指標として使用されます。
混雑度1．0未満 ： 昼間12時間をとおして、道路が混雑することなく円滑に走行できる状態。
混雑度1．0～1．25 ： 昼間12時間のうち、道路の混雑する可能性がある時間帯が1～2時間（ピーク時間）ある状態。
混雑度1．25～1．75 ： ピーク時間を中心に混雑する時間帯が大きく増加する可能性の高い状態。
混雑度1．75以上 ： 慢性的な混雑が発生している状態。

沖縄西海岸道路 宜野湾地区の道路の計画検討に関するアンケート調査票

ページの内容をご確認頂き、各設問に対し、お答え下さい。

ご回答者についてお聞きします。以下に示す項目について、あてはまる番号を１つ選び、回答欄に○を付けてお答え下さい。なお、「その他」を選んだ場合は「その他」の欄に具体的な内容をご記入下さい。

年齢：1. 10 代　2. 20 代　3. 30 代　4. 40 代　5. 50 代　6. 60 代以上　7. 70 代以上
職業：1. 学生　2. 会社員　3. 公務員　4. 自営業　5. 無職　6. その他（　　）
住所：沖縄県/（　　）市・町・村/字（　　）
運転免許の有無：1. 保有している　2. 保有していない

問 1　国道 58 号・宜野湾バイパスの利用頻度

国道 58 号および宜野湾バイパスの利用頻度について、あてはまる番号を 1 つ選び、回答欄に○を付けてお答え下さい。

1. 毎日　2. 週に数回程度　3. 月に数回程度　4. ほとんど利用しない
5. 利用したことがない

問 2　国道 58 号・宜野湾バイパスの移動手段

国道 58 号および宜野湾バイパスの移動手段について、あてはまる番号を全て選び、回答欄に○を付けてお答え下さい（複数回答可）。なお、「その他」を選んだ場合は「その他」の欄に具体的な内容をご記入下さい。

1. 自動車　2. バイク　3. 自転車　4. バス　5. 徒歩　6. その他（　　）

問 3　国道 58 号・宜野湾バイパスの利用目的

国道 58 号および宜野湾バイパスの主な利用目的について、あてはまる番号を全て選び、回答欄に○を付けてお答え下さい（複数回答可）。なお、「その他」を選んだ場合は「その他」の欄に具体的な内容をご記入下さい。

1. 通勤　2. 通学　3. 通院　4. 私用（日常的な買物・食事等）　5. 仕事（営業・運送）
6. その他（　　）

問 4　第 1 回意見聴取結果の妥当性

問 4-1：あなたは第 1 回意見聴取（R3.3～4 調査実施）に回答されましたか？あてはまる番号を 1 つ選び、回答欄に○を付けてお答え下さい。

1. 回答した　2. 回答していない

問 4-2：別紙に示す第 1 回意見聴取結果について、あなたは妥当だと思いますか？あてはまる番号を 1 つ選び、回答欄に○を付けてお答え下さい。

1. 妥当だと思う　2. どちらかといえば妥当だと思う　3. どちらともいえない
4. どちらかといえば妥当だと思わない　5. 妥当だと思わない

問 4-3：「問 4-2」で「どちらかといえば妥当だと思わない」「妥当だと思わない」と回答された方にお聞きします。妥当だと思わない理由を以下の回答欄にできるだけ具体的に記入し、お答え下さい。

問 5　道路整備の対応方針に重視する項目

問 5-1：今回、国道 58 号および宜野湾バイパスでの道路整備を検討する上で、地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視する項目について、あてはまる番号を全て選び、回答欄に〇を付けてお答え下さい（複数回答可）。

1. 物流施設（空港・港湾）・施設間の移動時間が短縮
2. 観光施設までの移動時間が短縮
3. 交通渋滞が解消され、円滑に移動可能
4. 交通事故が減少し、安全性を確保
5. 沿道へ自由にアクセスできる
6. 生活環境（大気・騒音・振動）への影響が少ない
7. 自然環境（動物、植物等）への影響が少ない
8. 景観に配慮した構造
9. 道路整備により影響する家屋数が少ない
10. 事業費（コスト）が安い

問 5-2：「問 5-1」で示した項目以外で、地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視する項目があれば、内容を以下の回答欄にできるだけ具体的に記入し、お答え下さい。

問 6　インターチェンジの設置を検討する際に、配慮すべき事項

インターチェンジなど周辺からのアクセスを検討する際に、どのようなことに配慮すべきと思いますか。ご自由にお書きください。

問 7　その他のご意見・ご要望

道路整備について、その他にご意見・ご要望がありましたらお答え下さい。

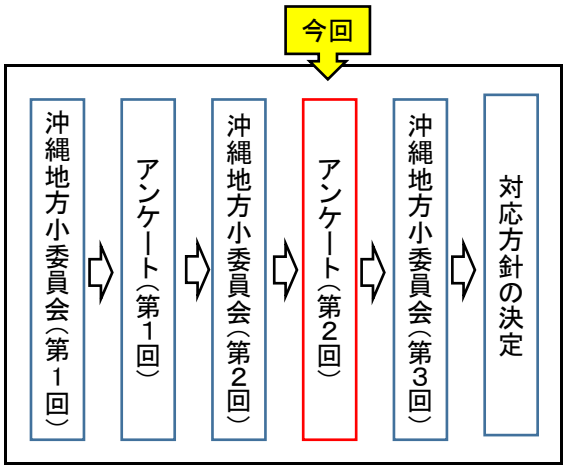
～アンケート調査は以上で終了です。ご理解ご協力頂き、誠に有難うございました～
記入済みの調査票は、同封する封筒に入れ、2022 年 3 月 31 日までに、お近くの
郵便ポストに投函していただきますよう宜しくお願いします。

■アンケートについて（第2回アンケート）

1）アンケートの目的について

公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、アンケート調査を実施します。

本アンケートは、沖縄西海岸道路宜野湾地区の様々な課題に対応する計画策定にあたり、地域の皆さまのご意見をお聞かせ頂くための**第２回目**のアンケートとなります。



2）アンケートの回答方法について

◇アンケート調査資料は、対象者に郵送配布しています。
◇世帯のうち代表の方がご回答ください（世帯主である必要はありません）。
◇アンケートご記入の際は、同封する資料をお読みいただきご記入ください。
◇アンケートの回答は郵送による回答とインターネットによる回答があります。

①郵送による回答（調査対象者へ郵送配布する調査票（紙）による回答）

記入済みの調査票は、同封する封筒に入れ、3月31日までに、お近くの郵便ポストに投函していただきますよう、お願いします。

②インターネットによる回答

チラシ・ポスター
掲載のQRコードより

スマートフォン、タブレットをお持ちの方は
右記のQRコードからアクセスできます。

南部国道事務所
ホームページから

パソコン、スマートフォン、タブレットをお持ちの方は南部国道事務所ホームページより、アンケートページにアクセスしてください。

▼南部国道事務所・アンケートページURL
http://www.dc.ogb.go.jp/nankoku/topix/r3topix/2201ginowan_anke/index.html